

多収米生育調査状況



つくばSD1号 速報

No.8

J A 福井県
福井基幹支店
多収米部会

目標単収を適期管理で越えていく!!

● 出穂前の病虫害防除!! (いもち病・紋枯病・カメムシ類)

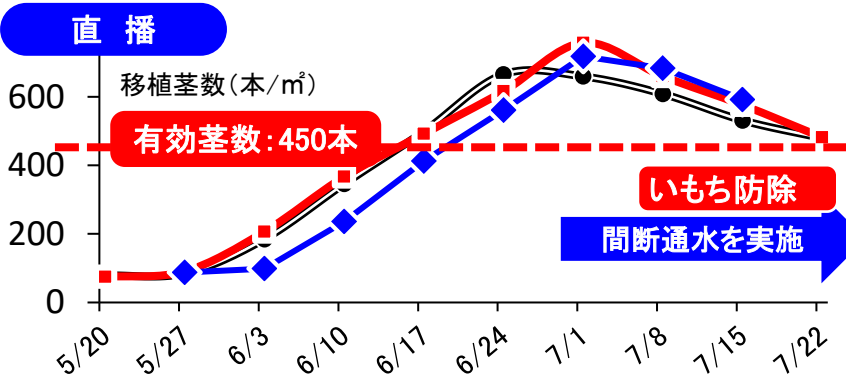
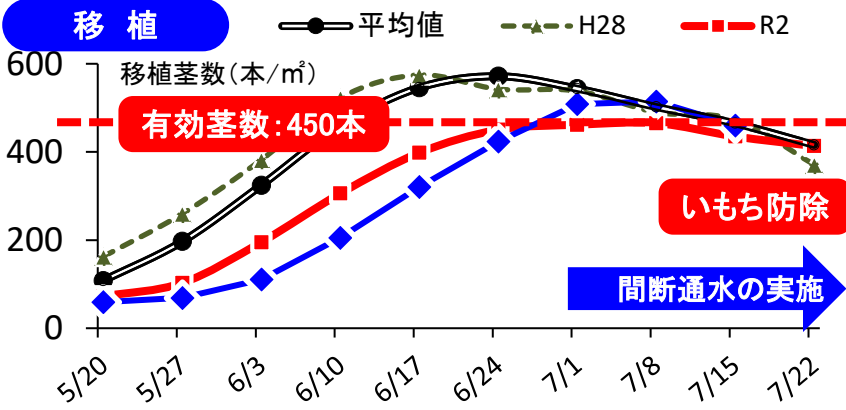
1. J A生育調査状況 (7月15日現在)

栽培区分	年度	平均作業日	草丈 cm	茎数 m ²	葉令	葉色
移植	R3	5月2日	79.0	460.2	11.1	4.8
	R2	5月2日	76.4	435.0	12.3	4.3
直播	R3	5月9日	72.8	592.4		4.5
	R2	5月5日	71.5	576.1	11.1	3.8

梅雨入り後の降水量はかなり多く、圃場内ニカメイチュウ・いもち病の発生が見られます。圃場によっては葉色の低下と病虫害の発生が見られます。梅雨明けは7月下旬の見込みです。生育状況と病虫害の発生を確認し的確な肥培管理をおこなひましょう。

つくばSD1号の管理

2. 茎数の推移と今後の管理



『移植』幼穂の生長は順調、出穂は7月下旬の見込みです。『直播』も幼穂形成期となりました。圃場によってはニカメイチュウ・葉いもち発生が見られます。特に生育が旺盛(過剰分けつ)な圃場。発病に好適な天候が続くため、徹底して防除を行ひましょう。

移植

直播

- 穂いもち病 : ブラシ粉剤 (使用量:3~4kg、2回以内、収穫7日前)
- 穂いもち・紋枯病・カメムシ類 : チームワーク粉剤 (使用量:3~4kg、2回以内、収穫7日前)
- ニカメイチュウ: パダン粒剤4 (使用量:3~4kg、6回以内、収穫30日前)
- カメムシ類 : ダントツH粉剤DL (使用量:3~4kg、2回以内、収穫7日前)

□ カメムシ類予防

: 畦畔の草刈りの徹底 (出穂までに実施する。)



3. 多収米のポイント

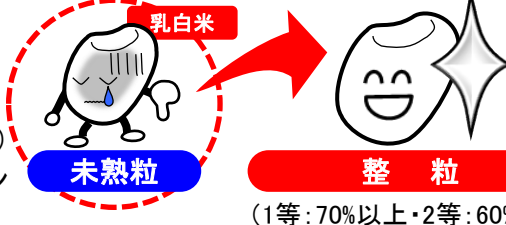
多収米は籾数が多く・大粒であるため未熟粒や乳白粒になりやすい。高単収で等級を落とさないために、幼穂形成期の肥培管理が重要です。7月下旬の出穂までの葉色に注意して、穂肥を散布しましょう。

R2つくばSD1号の等級

	1等	2等
R2	6.5%	92.0%

格落ち理由 : 未熟粒(乳白粒)の多発生による整粒不足。カメムシによる斑点米の増加。

★未熟粒(乳白粒)を整粒に変える肥培管理!!



- 水管理: 間断通水
- 穂肥: N1~2kg、出穂直前まで
移植: 7月25日頃まで
直播: 8月5日頃まで
- 病虫害防除の徹底

的確な穂肥で、収量アップを目指しましょう。今週の多収米速報は『西部支店』が担当しました。